

わたしのおすすめの一冊*知識の本&読み物編

子ども読書の日(4月23日)及び子ども読書週間(4月23日~5月12日)に併せ、4月13日(火)~4月29日(土)に「あなたのおすすめの一冊を教えてください!」として、柏市立図書館所蔵の児童書に限り、図書館各館で投稿をいただきました。記憶に鮮明な子どもの頃の大切な思い出の一冊や、今まさに夢中になって手にしている児童・生徒さんからの熱のこもった紹介を頂いた本などバラエティに富んだリストになりました。ご応募いただいた皆さま、ありがとうございました。(絵本編は「てのひら」23号に掲載)



* 知識の本には、出版社名の後に分類番号を記しています。(Eは絵本)

- ◆『エリノア・ルーズベルト』
デイビッド・ウィナー || 著
偕成社 280もしくは298.1

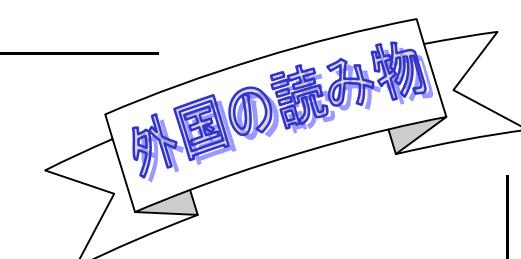
①文章が易しく、ルビも振ってあり、写真がたくさん。
②エリノアは美人一家の中で、美人ではなく母親から「おばあちゃん」と呼ばれて育ったが、劣等感を克服する。
③15才で良い教師と出会い、自分の目で判断し、困った人に救いの手を差し伸べる重要さを学ぶ。
④大統領夫人となり、黒人差別、女性差別とたたかった。
⑤戦後、アメリカ代表団の一員として国連に参加、人権委員会の委員長に選ばれ、歴史に残る「世界人権宣言」を成立させた。
* 80歳代 鈴木光浩

- ◆『サンタクロースってほんとにいるの?』
暁岐涉子 || 著 松浦範茂 || 絵 福音館書店 386もしくはE
作家の輝岡さんから、この本を作った経緯を直接伺って、とても感動しました。絵も子どもの想像力をかき立てる絵だと思います。
* 60歳代 鶴田道子

- ◆『タガメ』市川憲平 || 文・写真
農山漁村文化協会 486
水質汚染等で水田でくらす虫が減ってしまった。そんな虫(水生昆虫)について詳しく書いてあるから。

- ◆『ディズニーへ愛とゆめを世界に』
三浦清史 || 著 講談社 298
ウォルト・ディズニーが生まれた時から生涯までの話であり、ミッキーの誕生や色々なことが書いてあるので、ディズニーの好きな方はおすすめです。

- ◆『坂本竜馬一飛べ!ペガス』
古川 薫 || 著 小峰書店 298
子ども向けの本ですが、読み物としてしっかり面白く、歴史も詳細に説明されています。飽きることなく、歴史の勉強ができる、文化的楽しみも味わえるお得な一冊。小学校高学年から中学生におすすめ。
* 40歳代



- ◆『クオレ～愛の学校』
アーチス || 著 岩波書店
子どもの時、読んで感激した。
* 70歳代 岡野重遠

- ◆『エルマーのぼうけん』
『エルマーとりゅう』
『エルマーと16ぴきのりゅう』
ルース・スタイル・ガネット || 作・絵 福音館書店
“りゅう”に乗れたらって思った事がある人、ワクワクドキドキしたい人は自分で。そして夢のある子になってほしいと思うお母さんは、子どもに読んであげてほしいです。私も最初は毎晩少しづつ読みでもらい、次は自分で何度も読み、今は子どもに読みます。
* 40歳代 夢は世界一周

5才の子どもへ読み聞かせてます。男の子なので冒険していくお話をワクワクする様で真剣に聞き入ってます。エルマーが知識を使って色々進んでいく所がおもしろいです。
* 30歳代

- ◆【マジック・ツリーハウス】シリーズ
メアリー・ポー・オズボーン || 著
メディアファクトリー
ジャックとアニーの冒險がおもしろいから。

※ 2010.07.01現在、柏市の図書館では27巻までをご用意しています。(図書館)

- ◆『星の王子様』
サン=テグジュペリ || 作
岩波書店ほか
ありえない話だけど、ひとつひとつの言葉に納得してしまうから。
* 10歳代 Momo

- ◆【ダレン・シャン】シリーズ
1~12巻、外伝
ダレン・シャン || 著 小学館
読んでいるといつのまにかに自分が本の世界じゃなくその世界に飲み込まれ、主人公と一緒にいる気分になれるから。
* 10歳代 木村海里

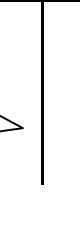
- ◆『ウルфиーからの手紙』
パティ・シャーロック || 作 評論社

- ◆『ハリスおばさんパリへ行く』ポール・ギャリコ || 著 ブッキング
ハリスおばさんは、毎日お仕事をして食べていっているおばさんです。この本は「生きていく」ということはどんな事であるかということを私にしっかりと伝えました。小学生～大人まで、誰もが楽しめると思います。他に『～国会に行く』『～ニューヨークへ行く』があります。是非読んでくれたら、嬉しいなア。
* 30歳代 hogoromo

- ◆『へそまがり 昔ばなし』
ロナルド・ダール || 作 評論社
みんなが知っている昔話なんだけれど、ダールの皮肉や言葉遊び、韻をふんだ文章がとてもおもしろいです。『チョコレート工場の秘密』(※)よりもおもしろい!!

※ 映画「チャーリーとチョコレート工場」の原作。
同じ作者の作品ですね。(図書館)

- ◆『十一歳の誕生日』
ポーラ・フォックス || 作
ぬぷん児童図書出版
子どもから大人になる最初の一歩を踏み出した男の子の成長が絶妙な距離感で描かれています。最後には、とても感動的な場面が待っています。小学校高学年から、思春期の子どもを持つ親におすすめ
* 40歳代



- ◆『蜘蛛の糸』
芥川龍之介 || 著
ボーラー社ほか
小学校中学年からおすすめ。人間で、コワイなあと、ぞくつとする本です。4年生、5年生に人気があります。
* 40歳代



- ◆『バッティー』あさのあつこ || 著
教育画劇(文庫版は角川書店)

この本は、主人公の天才ピッチャー原田巧が、周りの人達と触れ合い成長していく姿を描いています。巧とその友人である永倉豪の野球に対する強い思い…。全部で六冊ありますが、飽きずに読めます。児童書とは思えない位、気持ちが入ります。特に試合のシーンでは、本当にそれを見ている気になります。年齢に関係なく、野球を知らない人でも楽しめる本です。ぜひ読んでみてください。
* 13歳

野球が大好きな子や、思い通りにいかない毎日に悩んでいる中学生には是非読んでほしい。(野球少年にドキドキしている女子にも)心がヒリヒリします。
* 40歳代 夢は世界一周

※ 脇役の先輩を中心に、『バッティー』のその後を描いた『ライト・イング』(角川書店)もおすすめです。いくつかの分館では大人向けの棚に分類していますので、探してみてくださいね。(図書館)

<p>◆『一期一会信じるキモチ。』 『一期一会スキだから。』 『一期一会伝えたいコト。』他全6冊 粟生こずえ文 学研(小学生文庫) ちょーおもしろくてハマるから。友達とかのことで参考になったから。付録がおもしろい。 *10歳代 H. R</p> <p>おもしろい。付録みたいのがいい。 *10歳代 K. Y.</p>	<p>◆『うさぎ屋のひみつ』 安房直子作 岩崎書店 ・小学校3,4年生ぐらいから ・おいしいおいしいお料理どうやって作るのかな、お金のかわりの奥さんの宝石…最後のお楽しみ。 *50歳代</p>	<p>◆『コンスタンティノープルの渡し守』 塩野七生作 ポプラ社 著者の珍しい子ども向けの本、子どもにも詩情が判ると思う。ストーリーではなく、文章の力が判る本 *70歳代 岡野重遠</p>	<p>◇ [わかったさんのおかし] シリーズ 1~10巻 寺村輝夫作 あかね書房 作り方といっしょに物語が書いてあって、とても楽しい本です。高学年の人達に読んでもらえると一番いいと思います。 *11歳 内村梨沙</p>
<p>◆『ハーブ魔女の不思議なレシピ』 あんびるやすこ作・絵 ポプラ社 6匹の猫が出てくるし主人公がとても大好きです。他のあんびるさんのルルララの本(※)も好きです。 *10歳代 A. I. ※ 小学生のルルララが[メープル・ストリート]でお菓子屋さんをしているシリーズですね。(図書館)</p>	 <p>◆『獣の奏者I~IV』 上橋菜穂子作 講談社 国の存亡をかけた戦いの中で、真実を追い求め続ける主人公エリンの生き方に、潔さと本当の愛と強さを感じる。 *50歳代 あんじゅ</p>	<p>◆『西の魔女が死んだ』 梨木香歩著 榆出版(文庫版は新潮社) 中学生の女の子とそのおばあちゃんの話。自然がたっぷりのおばあちゃんの家で過ごす様子がすごく丁寧に伝わってきます。少し生活に疲れたら、リラックスして心がスッキリして、そしてあったかい気持ちになれると思います。難しい言葉はないので、小学校4,5年生くらいなら読めるかも。映画にもなっているので、それを観てからでもいいかもしれません。 *10歳代</p>	<p>◆『トンカチと花将軍』 舟崎克彦・舟崎靖子作 福音館書店 主人公は、ドライフラワー作りに夢中なネコや、水溜りのジャボチンスキ等に手助け(脱線も多いけど…)してもらいながら、不可思議な世界に入り込んでしまった愛犬サヨナラを探し続けます。次々に繰り出されるキテレツな登場人物や彼らの感性の滑稽さが楽しく、やがて示される勇気や友情が素敵です。怪物が噛んでいるというニッキに憧れました。 *40歳代</p>
<p>◆『妖精の家具、おつくりします。』 あんびるやすこ作・絵 PHP研究所 ミユは「だれかのためにいつしきんめいにしたこと」の宿題をおわらせようとした。そしてハルカおばさんのところへいって…ユミのちょっとしたいたずらでたいへんなことになります。でもいいことがおきるやさしいおはなし。 *6歳 かなな</p>	<p>◇[ブンダバー]シリーズ 1~10巻 くぼしまりお著 ポプラ社 ねこちゃんがすきな人にオススメ! あいきょうがあつてちよかわいい。すき(ハート)。おんちな歌もおもしろい。 *10歳代 ※ 本シリーズの他に、現在は「ブンダバーとなかまたち」が刊行中です。(図書館)</p>	<p>◆『妖怪アパートの幽雅な日常』 シリーズ1~10 香月日輪著 講談社 とにかく面白い! 妖怪という非日常的なものが住むアパートで暮らすことになった主人公が出会う数々のできごと。シリーズもので、スラスラ読めます。話の途中で出てくる食事がすごく美味しいぞうでしたい! ある一人の少年の成長物語もあります。時間があるかたはぜひ読んで。 *10歳代</p>	<p>◆【都会のトム&ソーヤ】シリーズ はやみねかおる著 講談社 スラスラと、ペースよく読めるところがいいと思いました。また、おもわず笑ってしまうところがあつたり、ためになる(?)知識も書いてあるのがおすすめの理由です。中学生が読むといいと思います。 *13歳 山道菜耶</p>
<p>◆【怪談レストラン】シリーズ 怪談レストラン編集委員会著 童心社 おもしろいこと、こわいところがあるからすきです。 *上倉あすみ</p> <p>◆ シリーズ34『人形レストラン』 少しこわく、おもしろい所があってよかった。 *11歳</p> <p>◆ シリーズ29『うまれかわりレストラン』 *8歳</p> <p>◆ シリーズ31『靈界通信レストラン』 ちょっと、怖くてすきです。シリーズがおもしろいのがたくさんあるので好きです。怖い物好きな人が好きな本だと思います。 *9歳</p>	<p>惑なドブネズミ: ガンバが、恐ろしいイタチ一族に島を占領されてしまったネズミ達を助ける物語。小学生の時に読んでめちゃくちゃ感動しました。今思えば、ガンバは人間で言うなら一人暮らしを始めたばかりの18歳位、イキで侠気のある仲間たちは百戦錬磨のアニキ分というところでしょうか。大人びた物語にぐっときたんでしょうね。</p>	<p>◆【ズッコケ三人組】シリーズ 全50巻 那須正幹著 ポプラ社 ズッコケ三人組が怪盗とたたかったり、幽霊事件をとしたり、宇宙へ行ったり、海底大陸へ行ったり、ハワイへ行ったりしてとてもおもしろいからおすすめします。 *9歳</p>	<p>◆【怪談レストラン】シリーズ 怪談レストラン編集委員会著 童心社 おもしろいこと、こわいところがあるからすきです。 *上倉あすみ</p> <p>◆ シリーズ34『人形レストラン』 少しこわく、おもしろい所があってよかった。 *11歳</p> <p>◆ シリーズ29『うまれかわりレストラン』 *8歳</p> <p>◆ シリーズ31『靈界通信レストラン』 ちょっと、怖くてすきです。シリーズがおもしろいのがたくさんあるので好きです。怖い物好きな人が好きな本だと思います。 *9歳</p> <p>※ シリーズ1巻『それゆけズッコケ三人組』は1978年、最終巻『ズッコケ三人組の卒業式』は2004年と、長いシリーズでした。現在、大人の方向けに、40代になった3人の『ズッコケ中年三人組』シリーズが刊行中です。(図書館)</p>
<p>◆『ぼくのコーチはカメのピーkee』 小林陽子著 佼成出版社 カメのピーkeeがコーチなんておもしろい。読んでみたけどすごいよ~。みんなも読んでみてね~。 *9歳 さいとう星(あかり)</p>	<p>◆『風の靴』朽木祥著 講談社 現代社会で少年が「家出する」ってどうなるんだろう、と、どきどきしながら読み始め、江ノ島から三浦岬までの帆走やキャンプの現実的な準備等のリアリティに引き込まれました。小学校高学年の男の子向きかな?(そんな年ごろの息子さんがおられるパパにもオススメ!) *40歳代</p>	<p>◆【かいつけゾロリ】シリーズ シリーズ多数 原ゆたか著 ポプラ社 *8歳</p> <p>◆『かいつけゾロリ やせるぜダイエット! 大さくせん』 原ゆたか著 ポプラ社 なまづに追いかかれているところです。おもしろいです。かいつけゾロリにきょうみがある人によんでもらいたいです。 *7歳</p>	<p>◆【クレヨン王国】シリーズ シリーズ多数 『クレヨン王国 黒の銀行』 福永令三著 講談社 「もう一つだめよと、すとんきょう! オオ!」と元気が出る呪文を唱えて、主人公の元気でおてんばな女の子二人組が銀行強盗に反撃! ! 子ども向けの物語にもかかわらず、クレヨン王国の黒の銀行のシステムが素晴らしい! *20歳代</p>
<p>◆ 平成うわさの怪談 23 『悪霊はふりむかない』岩崎書店 小暮正夫、国松俊英著 このシリーズはページをひらくと「こんなうわさ、してる?」とあって最後のページにもあります(※)。怖いのがとにかく好きと言う人に読んでもらいたい。 *10歳代 しお音 ※見返し部分にミニ怪談がいくつも紹介されています。(図書館)</p>	<p>◆ [コロボックル物語]シリーズ 1~5巻 第1巻『だれも知らない小さな国』 佐藤さとる著 講談社 私が、小学校高学年の時に読みそれまでの童話の世界を変えてくれた本です。子どもじみていのではなく、子どもの視線で物語が展開していくものなのだと知りました。本の中だけでなく、実際の世界でも小さな人を探してみたりして、とても楽しい本でした。小学校、5,6年生位におすすめでしょうか。 *40歳代 坂田健一 ※ コロボックルのお話は、本シリーズの他に「コロボックル絵童話集」などがあります。(図書館)</p>	<p>◆【ルドルフとイッパイッテナ】シリーズ 1~3巻 齊藤洋著 講談社 高齢者でも、泣けると思う。猫の話ですが、ありえない事のようだが、人情味がありおススメです。 *60歳代</p>	<p>◆【ちいさなあなたへSomeday】 アリソン・マギー文、ピーター・レイノルズ絵 主婦の友社 726.6 ちいさな「あなた」を産んだ「わたし」が優しいまなざしで娘の成長を見守るお話です。成長してゆく子どもがそれぞれの時期に出来事や困難を、離れたところで応援している姿、母親の身としては涙なしに読めません。女の子を持つお母さん方に特におすすめしたい一冊です。 *30歳代</p>